

【株主の皆様へ】

# 第67期 中間報告書

2021.4.1～2021.9.30

# グループ経営理念

山一電機グループは、人・企業・社会・地球とのより良い結びつきを柔軟な技術力と発想力をもって意欲的に創造する「もっとしなやかにベターコネクション」をコーポレートスローガンに、お客様の価値創出に貢献します。

1

## 人の尊重

人を育て、人を活かし、  
会社の発展と  
個人の幸せの共有を  
目指します。

2

## 企業価値の最大化

株主をはじめとしたステーク  
ホルダーの要請に応え、  
適正利潤を追求し、  
企業価値の最大化を目指します。

3

## 企業品質の向上

信頼の最大の基盤である  
優れた製品品質と企業品質を  
提供することによって、  
顧客の満足を図ります。

4

## 技術立社への挑戦

開発型企業として、  
たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、  
半歩先をゆく技術を提供します。

5

## 社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、  
社会から信頼される企業で  
あり続けます。

### セグメント別売上高構成比と主要な事業内容 (2021年9月30日時点)

#### 光関連事業 4.3%

RGBフィルタ、UV/IRカットフィルタ、  
ダイクロイックフィルタ・ミラー、  
蛍光ダイクロイックフィルタ、  
ショート/ロングパスフィルタ、  
バンドパスフィルタ、半導体レーザ光源

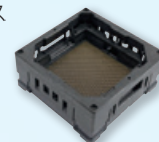
#### コネクタソリューション事業 44.1%

高速伝送用コネクタ、カードコネクタ、  
インターフェースコネクタ、基板コネクタ、  
圧接コネクタ、実装用ICソケット、その他各種コネクタ、  
YFLEX(高速伝送用ケーブル、実装基板)

売上高  
18,562  
百万円

#### テストソリューション事業 51.6%

バーンインソケット、  
テストソケット、  
半導体テスト関連サービス



# ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。  
2022年3月期第2四半期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の事業概況をお届けし、ご報告申し上げます。

当社は、本年11月1日に創立65周年を迎えました。これもひとえに、皆様のご指導ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

代表取締役社長 亀谷 淳一



当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナワクチン接種が相対的に進んでいる米国や欧州では経済活動の再開が段階的に進み景気の持ち直しが見られましたが、先進国を含めたコロナ変異株による感染再拡大に加え、世界的な半導体不足、中国経済の減速、原油価格高騰に起因する物資やエネルギー価格の上昇等により、依然として先行きは不透明な状況が継続しております。

このような状況の下、2020年度を初年度とする3カ年の山一電機グループ新中期経営計画(2021年3月期～2023年3月期)では、前中期経営計画の基本方針を継続して取り組むこととし、「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長することを目指し、この経営目標の達成にあたり「グローバルに連携し、未来につながる製品の創造」という観点から取り組んでおります。戦略としては、「成長戦略」と「構造改革」を継続して推進し、お客様のニーズに応えられる企業に成長するとともに、より一層の財務体質の強化と将来の成長に向けた経営基盤の強化を図っております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 18,562百万円(前年同期比 32.0%増)、営業利益 3,677百万円

(前年同期比 74.0%増)、経常利益 3,761百万円(前年同期比 84.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 2,979百万円(前年同期比 82.8%増)となりました。

2022年3月期連結業績予想につきましては、当社グループが注力するエレクトロニクス市場において、IoTや5Gの市場拡大、データセンター投資の拡大、スマートフォンや自動車の高機能化に伴う更なる進展に向けた半導体設備投資及び各種電子部品の需要拡大が見込まれる状況を受け、売上高 36,000百万円(前期比 30.1%増)、営業利益 5,600百万円(前期比 75.4%増)、経常利益 5,700百万円(前期比 81.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 4,400百万円(前期比 69.7%増)を予想しており、当社創業以来の最高営業利益額を見込んでおります。

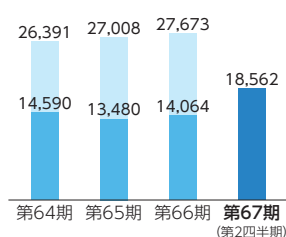
なお、中間配当につきましては、1株当たり15円といたしました。期末配当につきましては、配当性向30%を基準に1株当たり48円、通期では63円を予定しておりますが、最終配当金額につきましては、2022年3月期 期末決算時の純利益額にて調整させていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

## ■ 連結業績ハイライト

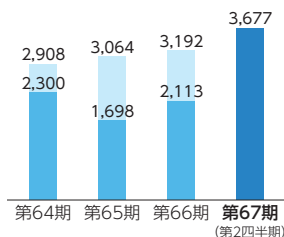
### 売上高

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



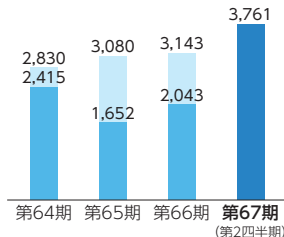
### 営業利益

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



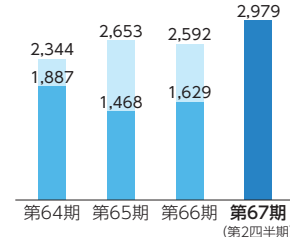
### 経常利益

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



### 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位:百万円)



# セグメント情報

## テストソリューション事業

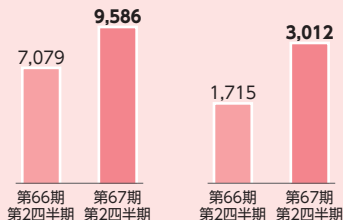
バーンインソケット、テストソケット、半導体テスト関連サービス

売上高構成比  
51.6%

(単位：百万円)

売上高

営業利益



### NAND用バーンインソケット拡充

テレワーク導入等生活様式の変化によるパソコン需要の拡大、企業のビッグデータ活用拡大等によるデータセンター需要の高まり等の市場環境により、それらの主要デバイスとして使われるSSDのニーズも高まっております。当社ではSSDへ搭載されておりますNANDフラッシュメモリー用バーンインソケットの拡充を進めております。今後もお客様のニーズにお応えする技術開発に取り組み、最適なテストソリューションを提供してまいります。



## コネクタソリューション事業

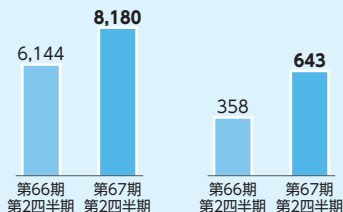
高速伝送用コネクタ、実装用ICソケット、YFLEX（高速伝送用ケーブル）等

売上高構成比  
44.1%

(単位：百万円)

売上高

営業利益



### 800ギガbpsイーサネット対応 光通信モジュール用コネクタをラインアップ

イーサネット伝送のデータセンター市場では、400ギガbps伝送の次の規格として800ギガbps伝送の規格化や開発が活発に進んできております。当社は、800ギガbps伝送で、データセンター市場の主流になると想定しているOSFPシリーズをいち早く開発し、800ギガbpsに対応したシングルタイプ及びスタックタイプのコネクタ販売を開始しました。今後、更なる伝送データ容量の増加と伝送性能の高速化が加速する市場へ対応するために、市場トレンドを先取りし、市場より先行した製品開発を進めてまいります。



## 光関連事業

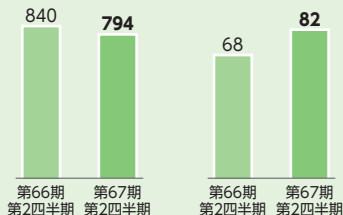
RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、半導体レーザ光源等

売上高構成比  
4.3%

(単位：百万円)

売上高

営業利益



### 分光分析装置用超多層膜急傾斜フィルタのラインアップを拡充

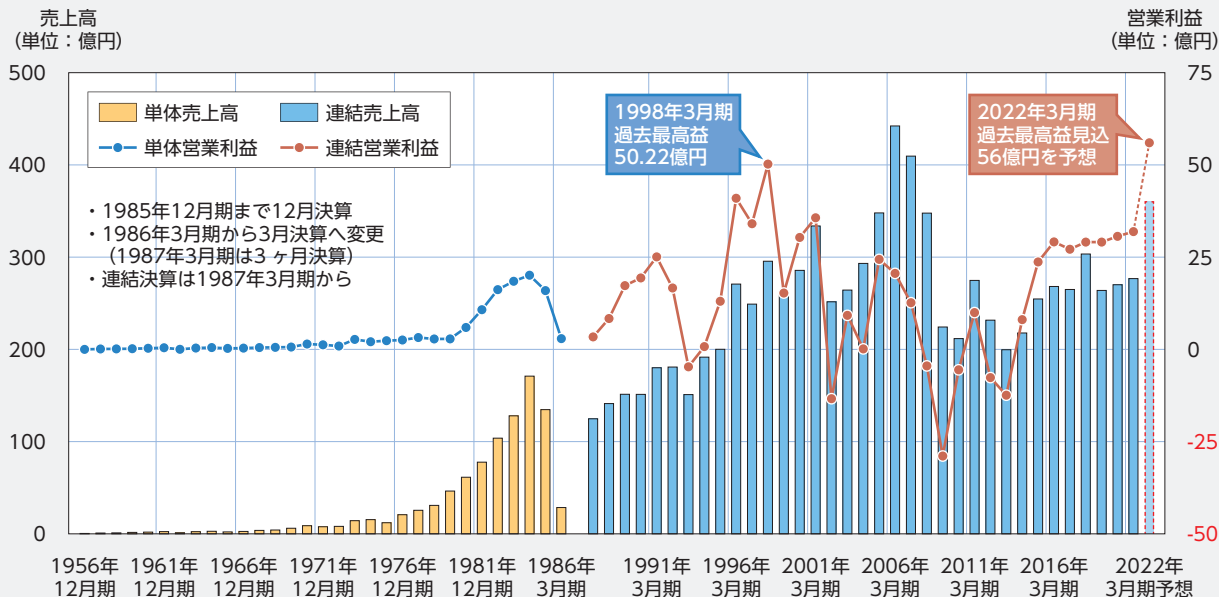
さまざまな波長の光を使って物質の化学構造を調べる分光分析装置は、基礎研究や製品開発のツールとして近年需要が増えております。キーデバイスである光学フィルタの高性能化に伴って、その適用範囲は半導体、電子部品、ディスプレイ、電池、バイオ、食品、医薬品等幅広い分野へ広がっております。光開発部門では、従来真空蒸着法では製作不可能と考えられていた400層を超える超多層膜形成技術を開発し、さまざまな分光分析装置の実現に不可欠な超多層膜急傾斜フィルタのラインアップを拡充いたしました。既に大きな市場シェアを獲得している血液分析装置用フィルタに加え、今後も新しい分析装置市場に向けた製品開発を進めてまいります。





## 2022年3月期に24年ぶりの最高営業利益を目指します

### 山一電機株式会社創業からの業績推移



2022年3月期の営業利益は、1956年11月創業以来の最高益である56億円を見込んでおり、1998年3月期に達成しました最高益を24年ぶりに更新する予想となります。主に通信関連市場向けの半導体テスト用ソケットに加え、車載向け製品、PC・サーバー向け製品並びに、メモリー用のパーインソケット製品が好調に推移したこと、車載機器向け及び産業機器向けコネクタ製品が市場での需要回復が進み好調に推移し、業績を牽引しております。

山一電機は、2021年11月に創立65周年を迎えました。この節目に過去最高益を達成し、グループ全体で持続的な成長を目指し新たなステージへと駆け上げられるよう邁進してまいります。

## 自己株式の取得について

取締役会決議内容			自己株式取得実績		
決議日	取得上限株数 (単位：株)	取得上限金額	取得株数 (単位：株)	取得金額	取得期間 (受渡日基準)
2021年5月28日	300,000	500,000,000円	299,400	499,948,800円	2021年6月3日～2021年8月19日

配当と自己株式取得により、引き続き総還元性向の向上を図ってまいります。

# 連結財務諸表

## ■ 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (2021年9月30日現在)	前期末 (2021年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>23,786</b>	<b>20,645</b>
現金及び預金	10,443	9,471
受取手形及び売掛金	6,955	5,416
たな卸資産	5,101	4,193
その他	1,285	1,563
<b>固定資産</b>	<b>14,823</b>	<b>14,818</b>
有形固定資産	13,152	13,157
無形固定資産	151	125
投資その他の資産	1,519	1,535
<b>資産合計</b>	<b>38,609</b>	<b>35,463</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>8,208</b>	<b>7,244</b>
支払手形及び買掛金	1,858	1,684
短期借入金	2,746	2,949
その他	3,604	2,610
<b>固定負債</b>	<b>2,780</b>	<b>2,563</b>
長期借入金	300	10
その他	2,480	2,553
<b>負債合計</b>	<b>10,989</b>	<b>9,807</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>27,751</b>	<b>25,814</b>
資本金	10,084	10,084
資本剰余金	1,787	1,775
利益剰余金	18,533	16,139
自己株式	△ 2,654	△ 2,183
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△ 429</b>	<b>△ 471</b>
<b>新株予約権</b>	<b>181</b>	<b>184</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>116</b>	<b>127</b>
<b>純資産合計</b>	<b>27,620</b>	<b>25,655</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>38,609</b>	<b>35,463</b>

## ■ 第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>18,562</b>	<b>14,064</b>
売上原価	11,351	8,869
<b>売上総利益</b>	<b>7,211</b>	<b>5,194</b>
販売費及び一般管理費	3,534	3,080
<b>営業利益</b>	<b>3,677</b>	<b>2,113</b>
営業外収益	118	50
営業外費用	34	120
<b>経常利益</b>	<b>3,761</b>	<b>2,043</b>
特別利益	0	0
特別損失	0	-
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>3,761</b>	<b>2,043</b>
法人税、住民税及び事業税	747	393
法人税等調整額	31	18
<b>四半期純利益</b>	<b>2,982</b>	<b>1,631</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	1
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>2,979</b>	<b>1,629</b>

## ■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,316	1,190
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,155	△ 965
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,227	△ 798
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	△ 55
現金及び現金同等物の増減額	972	△ 629
現金及び現金同等物の期首残高	9,448	9,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,421	8,629

# 会社概要 (2021年9月30日現在)

## ■ 会社の概要

商号 山一電機株式会社  
 所在地 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号  
 設立 1956年11月  
 資本金 100億8,410万円  
 従業員数 371名 (連結1,916名)  
 主な事業内容 1. テストソリューション事業  
 2. コネクタソリューション事業  
 3. 光関連事業

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数 60,000,000株  
 発行済株式総数 23,329,775株  
 株主数 5,055名  
 単元株式数 100株  
 大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,934,500	18.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,832,900	13.40
株式会社日本カストディ銀行 (信託口9)	871,600	4.12
株式会社日本カストディ銀行 (証券投資信託口)	788,700	3.73
S M B C 日 興 証 券 株 式 会 社	489,200	2.31
GOVERNMENT OF NORWAY	451,205	2.13
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	421,075	1.99
RBC ISB LUX NON RES/DOM RATE-UCITS CLIENTS ACCOUNT-MIG	373,500	1.76
山 一 電 機 従 業 員 持 株 会	355,988	1.68
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	352,900	1.66

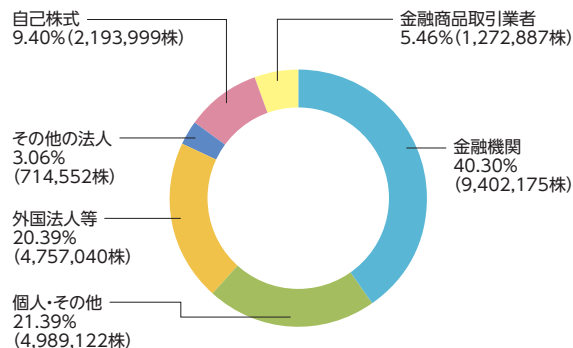
(注) 1. 当社は、自己株式を2,193,999株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式2,193,999株を控除して計算しております。

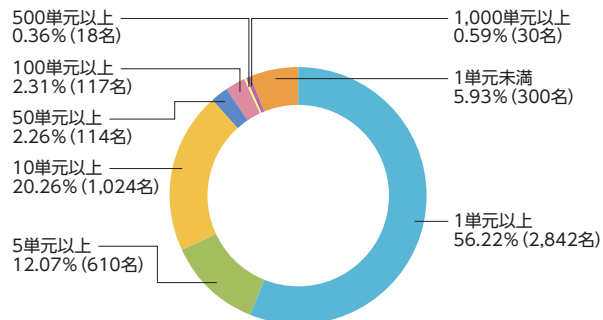
## ■ 役員

代表取締役会長 太田 佳孝 常勤監査役 柳澤 光一郎  
 代表取締役社長 亀谷 淳一 社外監査役 岡本 忍  
 取締役 土屋 武 社外監査役 村瀬 孝子  
 取締役 松田 一弘  
 取締役 岸村 伸洋  
 社外取締役 村田 朋博  
 社外取締役 佐久間 陽一郎  
 社外取締役 依田 稔久

## ■ 所有者別株式数分布状況



## ■ 所有株数別株主数分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日綱町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第1部:証券コード6941)
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

### 【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## IRサイトのご案内

IR情報はホームページからもご覧になれます。  
<http://www.yamaichi.co.jp/ir/tabid/87/Default.aspx>



山一電機



今後も、「株主の皆様へ」の情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

 山一電機株式会社

〒144-8581 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号  
 ☎03-3734-0115 (代表) ☎03-3734-0120  
 ホームページアドレス <http://www.yamaichi.co.jp>

 UD  
FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
 フォントを採用しています。

 ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C013080

 VEGETABLE  
OIL INK